

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。
本年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

2011年 ニュース・ピックアップ

- 2月1日 SL 社が非同期、リアルタイム、多次元データ用に、RTViewの最先端キャッシュ技術を発表：インメモリから履歴データベースへデータを透過的に行き来してSQLクエリが不要に
- 2月23日 「リアルタイムな可視化と監視ダッシュボードの適用 — インフラ/アプリ監視からBAMするには」セミナー開催@汐留シティセンター
- 3月4日 SL ジャパンは、大手町サンケイプラザで開催されたサイバース株式会社主催の金融エグゼクティブ・サミット「Sybase Financial Executive Summit 2011」に、スポンサー出展しました。
- 4月5日 SL 社は、米サンタクララで開催された Progress Software 社のユーザ会で、「Building Dashboards for Apama and Monitoring Progress RPM (Apama のダッシュボード構築と Progress RPM の監視)」について、講演しました。
- 4月5日 Sybase Aleri 製品で、SL 社の RTView への接続アダプタを提供：業界をリードする複合イベント処理 (CEP) エンジンでリアルタイムな可視化と監視を即座に実現
- 5月24日 SL-GMS Developer for .NET によるリアルタイム GUI が、富士通のビル管理システム Futuric/SX 製品の新版に採用：ビルオートメーション(BA)/設備監視システム専用のエディタが組み込まれ提供 (右図)
- 6月13-15日 SL 社、フロリダ州オーランド市で開催された Gartner IT Infrastructure, Operations & Management Summit にスポンサー出展：RTView for APM (アプリケーション性能監視) 製品を中心にご覧いただきました。
- 8月19日 SL 社、RTView の新バージョン 5.9 でアプリケーション性能監視 (APM) 機能などを強化：既存のインフラ/アプリケーション監視ツールとの統合を簡素化
- 9月7日 SL ジャパン、Microsoft .NET ベース SL-GMS 製品の新しいエディションで、64 bit ネイティブ Windows にフル対応：SL-GMS Developer for .NET ならびに SL-GMS Custom Editor for .NET 64 bit 版が、最も高度な新世代の監視制御システム開発を支援 (右図)
- 9月13日 SL 社、Oracle Complex Event Processing (CEP) の詳細監視ソリューションを発表：Oracle CEP ならびに Oracle Coherence の統合監視を提供で RTView を拡張 (右下図)
- 9月16日 「Microsoft .NET による Web 運用の監視・制御アプリケーションと専用エディタの構築 ~ 最短の市場投入時間と画面開発・保守コスト削減を実現する、開発技法と実例 ~」セミナー開催@青山スタジアムプレイス
- 9月27日 SL ジャパン、The Microsoft Conference 2011 に出展する NTT データのブースで、Microsoft StreamInsight 複合イベント処理 (CEP) に接続した RTView による、「マイクログリッド」のリアルタイムな可視化と監視デモで協力
- 9月28日 SL 社、アプリケーション性能監視のマジック・クアドラントでチャレンジャーとして位置付けられる
- 9月30日 SL 社と CloudTran 社が、クラウドにおける企業データをどのように格納してアクセスするべきかを監視するソリューションの提供で協力
- 10月2-6日 SL 社、ユーザ顧客である ON24 社とともに、Oracle OpenWorld 2011 のトラック・セッション・スピーカーに選出され、「ON24 Success Story: Harnessing the Power of Oracle WebLogic Server/Oracle Coherence*Web」という題名で講演、併設の JavaOne 2011 に出展しました。
- 10月31日 64 bit Windows 版 SL-GMS C++/Developer, Custom Editor 新製品リリース
- 11月15日 SL ジャパンの代表取締役社長である羽島良重が、東京ミッドタウンで開催された Application Performance 2011 で講演：「既存の監視ツールやデータで『カスタム構築』する アプリケーション性能管理 (APM) ~ サービス/ビジネス・アクティビティの状況が見えるインフラ/アプリ監視 ~」(右写真)
- 11月16-18日 SL 社は、サンフランシスコで開催された QCon San Francisco 2011 Conference に出展し、CEO である Tom Lubinski が、「Performance and Scalability Panel — 性能とスケーラビリティ・パネル」ディスカッションで、講演しました。
- 12月27日 SL ジャパンは、2011年度(12月決算)の利益の一部から、日本赤十字社に東日本大震災義援金 1,000,000 円を寄付しました。



RTView ポイント&クリックのビルダ



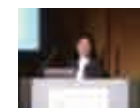
富士通株式会社様の「Futuric/SX シリーズ」製品



64 bit 版 SL-GMS Developer for .NET 新製品



Oracle CEP モニター・ソリューション



多数のサービス全体から、アプリケーション、インフラ・コンポーネントへとドリルダウン分析

典型的なグローバル金融機関で多数のサービスを提供するアプリケーションとそのインフラストラクチャの性能監視システムの構築例で、主に、Netcool などによって生成される千件以上のアラートと、Ganglia によって千台以上のホスト・マシンからプロセッサ速度やメモリ使用状況などの性能指標データ4万件を収集して監視しているところを中心に、詳細のデモンストレーションでご紹介しています。☆**デモ・ビデオでは公開しておりませんが、2月8日(水)開催のセミナーでご覧いただけます。**



この例では、500以上のサービス・アプリケーションが稼働しており、サービス全体のトップ画面からビジネス・サービス視点の「アラート影響度」で問題を認識し、個別のアプリケーションとインフラ・コンポーネントへとドリルダウンして、根本原因を特定していきます。

監視ツールが千件以上ものアラートを生成しており、個々のサービスとの紐付けが非常に困難ですが、RTView によって、たとえば「システム部門管轄」の「Web 支援サービス」の「Web サービス・アプリケーション」を構成している「Tomcat サーバ」の特定ホスト・マシン2台に問題あることがピンポイントで分かり、その担当者に対応処置をアサインできます。また、たとえば「株式部門管轄」の「デリバティブ管理サービス」の「取引支援サービス」を構成しているホスト・マシンすべてのプロセス監視画面から、CPU使用率が高くてアラートが出ている「取引注文管理システム」プロセスのサマリ画面詳細へとドリルダウンすると、そのプロセスのJMXから取得したCPUやメモリの使用率、スレッドの履歴をトレンドグラフで見ることができます。

その他、RTView の「ヒストリアン機能」による大量のアラートの履歴管理など、この性能監視システムは何千枚におよぶ画面で構成されていますが、RTView では、サービス、アプリケーション、アラート、ホスト・マシン毎に基本的なカスタム画面をビルダーで作成すれば、個々の画面はデータに応じて自動的に生成して管理されます。

SL-GMS Developer for .NET で構築した設備監視デモ **New!**

これまで SL-GMS は、発電所や変電所における電力設備監視やシミュレータ、ビル管理、鉄道、水処理、プラント/工場における設備監視を最も得意とする分野の一つとして、長年に渡って活用されてきました。

今回新たにご紹介するのは、SL-GMS Developer for .NET による施設の電力監視デモです。初期画面では電力会社が公開している電力使用状況のグラフに加え、監視施設のある管理区域のアイコンを表示した地図が表示され、地図上のアイコンをクリックすると、該当する管理区域の詳細地図とその区域内にある個別の施設の場所がアイコンで表示されます(右上図)。



そして、詳細地図上の個別施設のアイコンをクリックすると、その施設の電力系統図が表示され、トラブルが生じていないか確認することができます(右下図)。

☆この新しいデモを録画したビデオ(2分9秒)は、こちらでご覧いただけます:

http://www.sl-j.co.jp/demovideo/dotnet/facility_monitor/facility_monitor.html
ビデオ再生には Windows Media Player 11が必要です。

RTView® による「ビジネスやサービスが見えるインフラ/アプリ性能監視」セミナー開催のご案内

「既存の監視ツールやデータで「カスタム」構築するアプリケーション性能管理 (APM) ~インフラ/アプリ監視から、サービスやオペレーション状況をリアルタイムに可視化して監視するには~

★2012年2月8日(水) 15:00~17:00 [無料・事前登録制] @スタジアムプレイス青山(東京・外苑前駅徒歩2分)

セミナー・サイト: http://www.sl-j.co.jp/newsevents/120208_ap_seminar_detail.shtml

開始前に満席お礼で急遽、会場内に椅子を追加となった Application Performance 2011 セッション内容の「拡大版セミナー」です:

クラウド、ビッグデータ、仮想化によって複雑化する今日の分散した多層(※)アプリケーション環境における監視・管理ツールや性能指標などのデータすべてをリアルタイムに『直接』インメモリで集約し、サービスに応じて『カスタム構築』できるインフラ/アプリケーション性能監視について、世界で人気のオンラインストアやグローバル銀行の事例とデモとともに解説いたします。(※)ユーザ層、ミドルウェアとサーバ層、ハード OS 層

☆セミナーのお申し込みは、Newsletter 返信用ファックス、電子メール seminar@sl-j.co.jp またはセミナー・サイトから承っております。



RTView によるアプリケーション性能監視デモ・ビデオ(2分56秒)

Real-Time Visibility

年3回発行 2012年1月13日発行 通巻41号



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。